



2026 年 8 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社メディカルネット
代表者名 代表取締役会長 CEO 平川 大
(コード：3645 東証グロース)
問合せ先 管理本部ゼネラルマネージャー 三宅 大祐
(TEL. 03-5790-5261)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備の解消に関するお知らせ

当社は、2026 年 5 月期における財務報告に係る内部統制が有効であることを確認いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は前事業年度の決算業務において、子会社の連結の範囲からの除外については、複雑で難解な会計処理が必要でありましたが、会計基準及びその適用方法の理解が不十分であり、連結除外に関する準備が遅延し、本来実施すべき外部専門家や会計監査人への相談が不足したことから、状況に対応した手順書やワークシートの改善が徹底されておりませんでした。

また、適切な経理・決算業務のための必要かつ十分な専門知識が不足していたため、重要な事象や状況の変化に対する会計基準の適合性に関する検証の精度が不足しておりました。

当社は 2025 年 5 月期の決算業務において、連結の範囲から除外した株式会社ミルテルに係る会計処理等に時間を要し、決算数値の確認、承認手続きが不十分となり、会計監査人の監査の過程で以下の不備があることが判明し、2025 年 8 月 27 日に提出した第 24 期内部統制報告書にて財務報告に係る内部統制に開示すべき重要な不備がある旨の報告を行いました。

- (1) 決算手続に必要な正確かつ網羅的な情報を把握するための体制が不十分である。
- (2) 重要な事象や状況の変化に対応した手順書やワークシートの改善が徹底されていない。
- (3) 信頼性のある財務報告の作成に必要な体制、開示事項の作成に関する社内のチェック体制が不十分である。
- (4) 連結子会社の責任者の決算への認識及び会計の知識が不足しており、情報伝達に時間を要しているため、検討、整理に時間を掛けられていない。

当事業年度においては、上記の開示すべき重要な不備に対し以下の再発防止策を実行し、内部統制の改善を図ってまいりました。

- (1) 決算・財務報告プロセスにおける検証機能の強化
 - ・ 重要な会計処理や状況の変化に関する早期の検討実施と外部専門家及び会計監査人との早期のコミュニケーションの実施
 - ・ 膨大且つ複雑な決算手続きに関する基礎資料となるワークシートの網羅性、正確性を担保できるよう再構築
 - ・ 重要な事象や状況の変化に対する会計基準の適合性を踏まえた手順書、チェックリストの整備
- (2) 会計処理を適時適切に実施するための人員補強等
 - ・ 十分な経理知識を有する者の新規採用を含む人材の補強
 - ・ 複数人によるチェック体制を整備し属人的にならない体制の確立

- ・経理責任者及び実務者の知識向上のための継続的な研修参加機会の確保

その結果、当事業年度末時点において開示すべき重要な不備が是正され、当事業年度末日時点における財務報告に係る内部統制の評価結果は有効であると確認いたしましたので、その旨を記載した内部統制報告書を、本日付で関東財務局へ提出いたしました。

以 上